

科目名	エアライン応用						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	国内航空会社にて国際線グランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	<p>キャビンアテンダント関連授業: 航空機、機内の名称や仕様、インテリア等を把握し、航空機の作りを理解する。飛行機が飛ぶしくみや、現場のCAが使用する用語を習得し、理解することを目指す。</p> <p>グランドスタッフ関連授業: 空港や滑走路など施設に関する知識から空港で共に働く他職種への業務理解、国際線の渡航書類など手続きに関する内容まで、地上業務を行う上で必要な知識を習得し理解する。</p>						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				航空機及び機内設備の各部名称を覚え、それが何の役割を果たすか説明できる	
		○				航空用語を正しく覚え、その文言を使用しながら説明できる	
		○				空港施設や滑走路などの名称を覚え、それぞれの役割や特徴を説明することができる	
		○				出発から到着までの業務の流れを理解し、業務内容を説明できる	
テキスト・教材 参考図書	ANAオペレーション入門、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	本授業の主旨説明と航空業界の職種理解			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	2	CA関連授業: 航空機の各部名称について			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	3	CA関連授業: 航空機の各部名称と飛ぶ原理について			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	4	CA関連授業: 機内設備について			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	5	CA関連授業: 航空用語について			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	6	CA関連授業: 緊急保安①			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	7	CA関連授業: 緊急保安②			試験に向け十分な学習を行うこと(1時間)		
	8	CA関連授業: 試験			特に無し		
	9	GS関連授業: 国内外の空港とその特徴について			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	10	GS関連授業: 空港施設、滑走路について			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	11	GS関連授業: 出発・到着の流れ、航空用語について			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	12	GS関連授業: 渡航書類について			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	13	GS関連授業: 空港保安、イレギュラーについて			授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)		
	14	GS関連授業: 他職種理解			試験に向け十分な学習を行うこと(1時間)		
15	GS関連授業: 試験			特に無し			
評価方法	(1)CA、GSそれぞれの授業の最後に試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	○				100%
履修上の注意							

科目名	業界受験対策						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	大久保 舞 / 宮崎 みゆき		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	国際線客室乗務員として勤務 国際線グランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	受験企業に合わせた面接指導を行い、教員からのフィードバックを通じて自身の強みを再発見し、それを航空業界でどのように生かすのかを学ぶ。また、業界や職種への理解を深め、働くイメージや入社してからのビジョンをしっかりとをもって話ができるようになる。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		就職試験にふさわしい身嗜みや立ち居振る舞いができる。	
		○		○		自己分析をし、経験談や学び、自身もつ能力について分かりやすく伝えることができる	
		○		○		希望する職種について理解し、志望動機として分かりやすく伝えることができる	
		○		○		航空業界に求められる資質を理解した上で自己PRを作成することができる	
			○			好感のもてる表情や口調で伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	特になし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第一印象の確認(入退室、挨拶、自己紹介)、面接練習			自己分析や業界・職種研究を行い、面接練習に備えること。(2時間)		
	2	自己PRの確認、面接練習			自己分析や業界・職種研究を行い、面接練習に備えること。(2時間)		
	3	好感のもてる表情、話し方の確認、面接練習			自己分析や業界・職種研究を行い、面接練習に備えること。(2時間)		
	4	航空業界に求められる資質、面接練習			自己分析や業界・職種研究を行い、面接練習に備えること。(2時間)		
	5	CA・GSとして大切なこと、面接練習			自己分析や業界・職種研究を行い、面接練習に備えること。(2時間)		
	6	面接練習、フィードバック			自己分析や業界・職種研究を行い、面接練習に備えること。(2時間)		
	7	面接練習、フィードバック			自己分析や業界・職種研究を行い、面接練習に備えること。(2時間)		
	8	面接練習、フィードバック			自己分析や業界・職種研究を行い、面接練習に備えること。(2時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)課題提出を数回行う (2)授業内で発表する機会を数回設ける (3)面接練習を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	面接		○		◎		50%
	提出物				◎		50%
履修上の注意	就職活動にふさわしい身嗜みで臨むこと(スーツ着用)。						

科目名	国内地理						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	大岡 牧代		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	航空業界をはじめ交通・運輸業界で働くうえで、日本国内の運輸機関に関する基礎知識および観光地理の知識は必須である。この授業では、国内の運輸業界を概観するとともに、運輸業界に携わる際に必要な日本国内の観光地理についての知識を習得する。						
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					国内の運輸業界について、その種類や特徴を把握できている。	
	○					主要空港の所在地と3レターコードが把握できている	
		○				自然景観や世界遺産など、観光資源になり得るものを説明することができる。	
	○					各都道府県の観光資源を知り、その特徴や所在地が把握できている。	
	○					日本各地の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	大原出版「旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト 1 観光地理<国内・海外>」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	観光資源とは			自分にゆかりのある都道府県にはどのような観光資源があるか調べてみる。(0.5時間)		
	2	世界遺産について			授業で出てきた世界遺産を地図帳で確認し、画像検索等を活用してイメージをつかむこと。(0.5時間)		
	3	運輸業界と観光			運輸業界の種類や会社、また、興味のある会社の組織や事業内容を調べてみる。(0.5時間)		
	4	航空業界と観光			国内航空会社による観光に関連する取り組みを、各社機内誌やHP等から探してみる。(0.5時間)		
	5	国内観光地理① — 九州・沖縄地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
	6	国内観光地理② — 九州・沖縄地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
	7	国内観光地理③ — 九州・沖縄地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
	8	国内観光地理④ — 九州・沖縄地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
	9	国内観光地理⑤ — 北海道地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
	10	国内観光地理⑥ — 東北地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
	11	国内観光地理⑦ — 関東地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
	12	国内観光地理⑧ — 中部地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
	13	国内観光地理⑨ — 近畿地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
	14	国内観光地理⑩ — 中国地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
	15	国内観光地理⑪ — 四国地方			授業で出てきた観光資源を地図帳等で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。(0.5時間)		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) 課題提出を1回課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
課題	◎	○		◎		30%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	接客手話A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平嶋 光希		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	手話入門 視覚的にものをとらえる工夫や様々な手段を使い、聴覚障がい者に伝え合う事を学ぶ。また、授業を通して手話の基本を身に付け、手話技能検定5級の取得を目指す。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					聴覚障がいの基礎知識を理解し、説明することができる。	
	○					聴覚障がい者の生活を理解し、説明することができる。	
		○				日常で使用する基礎的な表現を、手順書を見ずに表現することができる。	
テキスト・教材 参考図書	手話技能検定(5. 6. 7)プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	伝え合う。名前の紹介 指文字 ①挨拶					
	2	伝え合う。名前の紹介 漢字 ②天気					
	3	伝え合う。名前の紹介 ③疑問					
	4	家族の紹介 ⑦人 ⑧家族 ⑩方角					
	5	数を使って ④数字 ⑨方角					
	6	趣味について ⑪感情 ⑫動作					
	7	1日の事について話す ⑤1週間 ⑥日・週・年					
	8	指文字テスト 5-1疑問と時間					
	9	5-2自然に関する単語と家族・仕事・趣味 質疑応答					
	10	5-3程度を示す単語 話題提供					
	11	5-4基本動詞 5-5形容詞					
	12	復習 読取小テスト					
	13	手話技能検定5級					
	14	自己紹介 実技					
15	4-6 動詞						
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(筆記・実技) (2)レポートを実施。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記	◎	○				30%
	実技3回		◎				60%
	レポート				◎		10%
履修上の注意							

科目名	キャビンアテンダント業務Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	大久保 舞		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	キャビンアテンダント(以下CA)を目指す学生を対象に開講する。一年時に学んだCA業務の知識を深める。CAの業務は幅広く、国内線・国際線共にサービススキルを高めていく。正しく業務内容を把握し、正しくお客様にご案内出来ることを目指す。また、CIQをお客様にお伝え出来るようにする。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			清潔感のある身嗜み(ヘアメイク・スーツの着こなし)を保つことが出来る。	
		○				CA業務の基本知識を説明することが出来る。	
			○			ドリンクサービス業務を正確に行うことが出来る。	
		○	○			保安優先の行動が出来る。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業の心構え・CA業務の基礎知識の復習			習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)		
	2	CA業務の一連の流れの理解(国際線保安)			習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)		
	3	CA業務の一連の流れの理解(国際線サービス)			習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)		
	4	国際線エコノミークラスサービス(基本編)			習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)		
	5	国際線ビジネスクラスサービス(基本編)			習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)		
	6	国際線ファーストクラスサービス(基本編)			習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)		
	7	CIQの理解とお客様対応			習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)		
	8	本授業の振り返りと復習			習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	サービスの実技試験を授業内で行う						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎			100%
履修上の注意							

科目名	グランドスタッフ業務Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	国内航空会社にて国際線グランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	1年次に学んだ職種や業界の知識をさらに深め、航空業界のスペシャリストとして活躍できる人材を目指す。グランドスタッフ業務Ⅰで学んだ基礎知識をロールプレイにて実技を以て定着させ、航空業界の現場で即戦力として必要とされるスキルを取得し、更なる専門性を身に付ける。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				航空業界、グランドスタッフに必要な専門用語を、場面にに応じて正しく使用することができる。	
	○	○				グランドスタッフだけでなく共に働く多職種の業務の流れを把握し、それぞれの役割について説明できる。	
		○				正しい言葉遣いやお客様への対応力を身に付け、授業内のロールプレイで実践できる。	
		○				グランドスタッフの業務の流れを理解し、ロールプレイにて応用させ実践することができる。	
テキスト・教材 参考図書	ANAグランドスタッフ入門、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グランドスタッフ業務Ⅰの振り返り・目標設定			グランドスタッフ業務Ⅰの内容を復習しておくこと(0.5時間)		
	2	GSのキャリアプランについて			グランドスタッフ業務Ⅰの内容を復習しておくこと(0.5時間)		
	3	多頻度旅客、マイレージサービスについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	4	出発業務(渡航条件と渡航書類)について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	5	チェックインロールプレイ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	6	業界研究①			研究内容をまとめ発表の準備をして臨むこと(0.5時間)		
	7	業界研究②			研究内容をまとめ発表の準備をして臨むこと(0.5時間)		
	8	研究発表			研究内容をまとめ発表の準備をして臨むこと(0.5時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)実技試験を実施する。(2)業界研究を行い、その成果を授業内で発表する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験	◎	○	○			70%
	発表内容	◎	○				30%
履修上の注意	グランドスタッフ業務Ⅰの内容をしっかりと復習した上で臨むこと。						

科目名	ホスピタリティサービス						
科目名(英)	Hospitality Service						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	未定		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	航空業界では、高いホスピタリティが求められる。また、「ホスピタリティ」という言葉を多用する業界でもある為、本義を正しく理解し、実践できることを目指す。また、企業が求める感動のサービスを理解し、ロールプレイで実践練習を重ねていく。						
授業形態	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
	※ 主たる形態:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ホスピタリティとは何かを理解し、説明できる	
		○				敬語の種類を認識し、違いを説明できる。	
				○		多様なお客様に対して、それぞれに応じた対応ができる。	
	○					気配り、心配りとは何かを説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	ホスピタリティの教科書						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ホスピタリティ概念の理解				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる (0.5時間)	
	2	気配り①				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる (0.5時間)	
	3	気配り②				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる (0.5時間)	
	4	心配り①				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる (0.5時間)	
	5	心配り②				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる (0.5時間)	
	6	ホスピタリティマインドの育て方				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる (0.5時間)	
	7	ホスピタリティの為のケーススタディ				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる (0.5時間)	
	8	企業の現場での感動サービス				授業で習ったことを復習し、知識を定着させる (0.5時間)	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	①授業内で小テストを3回実施する ②レポート提出 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	○				50%
	レポート	○	○				50%
履修上の注意							

科目名	接客サービスマナーⅡ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	未定		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	1年次に学んだ接客サービスマナーの知識を応用し、実践的なビジネスマナーを身に付けることで、社会人として相応しい人材を目指す。また、期待される社会人となるべく、仕事への取り組み方や大切にすべき心構えについても学び、即戦力として活躍できるように学んでいく。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				働く意識を持ち、仕事への取り組み方についての自身の考えを発表することができる。	
	○	○				仕事の基本となる8つの意識を何も見ずに説明することができる。	
	○	○				正しい敬語や来客対応の方法を学び実践することができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	キャリアと仕事へのアプローチ					
	2	仕事の基本となる意識や心構えについて					
	3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本					
	4	指示の受け方と報告、連絡、相談					
	5	話し方と聞き方のポイント、敬語の正しい使い方					
	6	来客対応と訪問の基本マナー					
	7	名刺交換					
	8	仕事への取り組み方、心構え					
	9	ビジネス文書の基本 - 役割と種類					
	10	ビジネス文書の基本 - 社内文書、社外文書					
	11	ビジネス文書の基本 - メールの書き方					
	12	電話のマナー					
	13	冠婚葬祭のマナー					
	14	会社を取り巻く環境と、経済の動向について					
15	総括						
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				40%
	宿題・レポート		◎				20%
	発表	◎	◎				40%
履修上の注意							

科目名	航空予約端末演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	国内航空会社にて国際線グランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	ANA空港カウンター、ANA予約案内センター、旅行会社等で使われているableというシステムの操作方法を学び、ANA国内線の予約・発券について理解を深めることを目的とする。同時に、ANAの国内線知識についても学び、able国内線検定初級の合格を目指す。本講座はANAのシステムを使用するが、他社を含めた国内線知識も同時に習得し、お客様のニーズを理解し即戦力として活躍できる人材を目指す。						
授業形態	講義： △	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				able国内線検定(初級)の検定問題を、テキストやANA SKYWEBを参照しながら一人で実施することができる。	
		○				操作方法を理解し、問題によって使い分け応用させることができる。	
	○	○				運賃ルールの調べ方や航空券の読み取り方を理解し、解答のポイントを説明することができる。	
		○				able国内線検定(初級)に合格することができる。	
テキスト・教材 参考図書	ableテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、ガイダンス				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	2	ANAの運賃について、able端末概要				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	3	予約 — 空席照会、予約取得、座席指定				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	4	予約 — マイレージクラブ会員の予約、待ち予約				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	5	予約 — 配慮を要する旅客の予約				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	6	PNR検索				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	7	PNR検索 — PNRの変更、交換発行				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	8	まとめテスト				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	9	解約 — PNRの解約				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	10	払い戻し — 手数料の確認				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (0.5時間)	
	11	検定対策問題				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (1時間)	
	12	検定対策問題				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (1時間)	
	13	期末試験				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (1時間)	
	14	検定対策問題				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (1時間)	
15	検定試験(初級)				これまでの復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。 (1時間)		
評価方法	(1)授業内で定期試験を実施する。(2)検定を受験する。(3)授業内で数回小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験	◎	○	◎	○		50%
	検定取得状況	◎	○	◎	○		30%
	小テスト	◎	○		○		20%
履修上の注意							

科目名	英語検定(TOEIC)対策ⅡA									
科目名(英)	TOEIC Test Strategies ⅡA									
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	和田 菜穂 / 野々村 賢一					
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験						
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年									
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。									
授業形態	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる形態:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の業務に関連する議論の流れ、結論の理由が理解できる。 ・新製品がどういった点で従来のものよりも優れているのかについての説明を理解できる。				
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。				
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、Word Power4500、Listening Box for TOEIC他									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	導入テスト 解法解説								
	2	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	3	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	4	TOEIC対策 語彙、Part6、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	5	TOEIC対策 語彙、Part7、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	6	TOEIC模擬試験 問題1 筆記				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	7	TOEIC模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	8	TOEIC模擬試験 問題1 解説				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	9	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	10	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	11	TOEIC対策 語彙、Part6、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	12	TOEIC対策 語彙、Part7、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	13	TOEIC模擬試験 問題2 筆記				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	14	TOEIC模擬試験 問題2 リスニング 解答&解説				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	15	TOEIC模擬試験 問題2 解説				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	16	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	17	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	18	TOEIC対策 語彙、Part6、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	19	TOEIC対策 語彙、Part7、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
20	TOEIC模擬試験 問題3 筆記				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。					

	21	TOEIC模擬試験 問題3 リスニング 解答&解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	22	TOEIC模擬試験 問題3 解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	23	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	24	TOEIC対策 語彙、Part5、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	25	TOEIC対策 語彙、Part6、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	26	TOEIC対策 語彙、Part7、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	27	TOEIC模擬試験 問題4 筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	28	TOEIC模擬試験 問題4 リスニング 解答&解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	29	TOEIC模擬試験 問題4 解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	30	定期試験対策 学期総括	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、600点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策ⅡA					
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡA					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本 彩	
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)	
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年					
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集、TOEIC公式問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション(授業の進め方、リスニングトレーニング)				
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	英検模擬試験(筆記)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	16	英検模擬試験(リスニング)、筆記解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	17	英検本試験解説①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	18	英検本試験解説②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	19	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	20	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	21	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	22	オリエンテーション(授業の進め方、リスニングトレーニング)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	23	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
24	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		

	25	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	前期まとめ	前回の復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(準2級)対策ⅡA					
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡA					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山 久豪	
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	塾講師、英語講師	
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年					
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英語検定2級過去問、TOEIC公式問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	2	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	英検模擬試験 問題1 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	英検本試験解説 大問1			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	英検本試験解説 大問2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	16	英検本試験解説 大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	17	英検本試験解説 大問4			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	18	英検本試験解説 モデルライティング練習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	19	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	20	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	21	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	22	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	23	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
24	英検対策 大問4(長文)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		

	25	英検対策 大問4(長文)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	期末テスト前復習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語ⅡA						
科目名(英)	General English ⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	岡本 彩		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)		
対象学科・学年	エアライン科 英語コミュニケーション科 海外ビジネス科 2年						
授業概要	国際的なステージで求められる英語運用能力を付けるためにTOEICリーディングの対策を行う。TOEICスコア500点以上を目指し、この授業では、まず英語力の土台となる品詞に対する理解を深め、TOEICのPart5問題へのアプローチ方法を学び、実践での対応力を培っていく。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				品詞を見分けることができる	
	○	○				文の要素と修飾語を区別できる	
	○	○				前置詞・接続詞を見分けることができる	
テキスト・教材 参考図書	TOEICでる1000問 他						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、品詞の理解と整理					
	2	品詞の理解と整理				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	3	文型の理解と整理				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	4	Part5品詞問題の解き方 (文の要素がそろっているパターン/欠けているパターン)				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	5	Part5品詞練習問題①				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	6	Part5品詞練習問題②				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	7	Part5品詞練習問題③				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	8	Part5品詞練習問題④				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	9	Part5品詞問題確認テスト Part5前置詞・接続詞問題の解き方 (見分け方/頻出の前置詞・接続詞)				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	10	Part5前置詞・接続詞練習問題①				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	11	Part5前置詞・接続詞練習問題②				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	12	Part5前置詞・接続詞問題確認テスト Part5動詞問題の解き方(主述の一致/時制/態)				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	13	Part5動詞練習問題①				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	14	Part5動詞練習問題②				指定された課題、予習を必ず行うこと	
	15	前期まとめ				指定された課題を必ず行うこと	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC(IP)を実施する。730点以上を100点、650点以上を95点、600点以上を90点、550点以上を85点、500点以上を80点、455点~495点を75点以下、405点~450点を70点、400点未満を65点以下とする。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 指定された課題と予習は必ず行うこと。						

科目名	総合英語ⅡA										
科目名(英)	General EnglishⅡA										
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	野々村 賢一						
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	英語講師22年						
対象学科・学年	エアライン科 英語コミュニケーション科 海外ビジネス科 2年										
授業概要	英語の基礎となる品詞と5文型の理解を深め、様々な文法事項へ応用できる力を付ける。英語の成り立ちと英語が訳せない理由を把握することで、それを克服し、勤や、感覚に頼らず論理的に英文を訳せるようになる。また英文解釈にとどまらず、TOEICのPart5に応用できる力を付ける。										
授業形態	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる形態:○	その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				英語のルール、文の成り立ち、構造を理解し、正確に読めるようになる。					
	○	○				文構造を把握し勤や感覚にたよらず論理的に英文を訳せるようになる。					
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への応用ができる。					
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	クラス概要の説明、自己紹介、品詞重要な4大品詞									
	2	品詞重要な4大品詞: 名詞・動詞・形容詞・副詞の役割と練習問題					前回の授業の復習				
	3	4大品詞に次ぐ重要品詞: 前置詞・接続詞と練習問題					前回の授業の復習				
	4	文の成り立ち②: 文の要素と修飾語					前回の授業の復習				
	5	5文型: 修飾語を取り除いた文の要素の語順					前回の授業の復習				
	6	5文型の練習問題					前回の授業の復習				
	7	なぜ5文型の把握が大切なのか①英語が複雑になる3大理由 ①修飾語					前回の授業の復習				
	8	3つの構成単位: 語・句・節					前回の授業の復習				
	9	句と節の対処法: 句・節の「範囲」を把握し、()でくくる					前回の授業の復習				
	10	なぜ5文型の把握が大切なのか②					前回の授業の復習				
	11	句・節の「役割」を特定する					前回の授業の復習				
	12	なぜ5文型の把握が大切なのか③					前回の授業の復習				
	13	読解問題①					前回の授業の復習				
	14	読解問題②					前回の授業の復習				
	15	読解問題③					前回の授業の復習				
評価方法	(1)筆記試験による定期試験を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。470点以上を80点、400点未満を75点以下、または70点以下とする。 (3)授業中、4回のまとめテストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	定期試験	◎	○				60%				
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%				
小テスト	◎	○				20%					
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。										

科目名	総合英語ⅡA						
科目名(英)	General EnglishⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	未定		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 英語コミュニケーション科 海外ビジネス科 2年						
授業概要	英語の基礎となる品詞と5文型の理解を深め、様々な文法事項へ応用できる力を付ける。英語の成り立ちと英語が訳せない理由を把握することで、それを克服し、勤や、感覚に頼らず論理的に英文を訳せるようになる。また英文解釈にとどまらず、TOEICのPart5に応用できる力を付ける。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。	
	○	○				5文型を使い分けすることができる。	
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。	
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への応用ができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナル学習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、品詞概要、文中での役割					
	2	自己紹介／5文型とは／第二文型 導入				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	第三文型・第一文型 導入				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	第四文型・第五文型 導入				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	第二文型・第三文型 復習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	第一文型・第四文型 復習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	第五文型 復習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	五文型確認テスト				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
15	期末テスト前復習				前回の復習を行って授業に臨むこと		
評価方法	1) 学内でTOEIC (IP) 検定試験を実施。 730点以上を100点、650点以上を95点、600点以上を90点、550点以上を85点、500点以上を80点、455点～495点を75点以下、450点未満を70点以下とする。 2) 定期試験(筆記)を実施する。 3) 小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IP)検定試験	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語ⅡA						
科目名(英)	General EnglishⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	未定		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 英語コミュニケーション科 海外ビジネス科 2年						
授業概要	1年次の学習内容を踏まえ、基本的文法力を身に付ける。 また、時制の使い分けができるようになり、より正確な英文が書けるようになる。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				英文読解に必要な基本的文法が理解できる。	
	○	○				時制や態を使い分けて、適切な英文を作ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	高校英文法をひとつひとつわかりやすく。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1年次復習 品詞①					
	2	1年次復習 5文型①				前回の授業の復習	
	3	1年次復習 5文型②				前回の授業の復習	
	4	1年次復習 5文型③				前回の授業の復習	
	5	1年次復習 5文型④				前回の授業の復習	
	6	1年次復習 5文型⑤				前回の授業の復習	
	7	時制①				前回の授業の復習	
	8	時制②				前回の授業の復習	
	9	完了形①				前回の授業の復習	
	10	完了形②				前回の授業の復習	
	11	完了形③				前回の授業の復習	
	12	受動態①				前回の授業の復習	
	13	受動態②				前回の授業の復習	
	14	受動態③				前回の授業の復習	
15	期末試験対策(まとめ)				前回の授業の復習		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC(IP)を実施する。730点以上を100点、650点以上を95点、600点以上を90点、550点以上を85点、500点以上を80点、455点～495点を75点以下、405点～450点を70点、400点未満を65点以下とする。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○		○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語ⅡA						
科目名(英)	General EnglishⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	中山 久豪		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	塾講師、英語講師		
対象学科・学年	エアライン科 英語コミュニケーション科 海外ビジネス科 2年						
授業概要	英語の基礎となる品詞と5文型の理解を深め、様々な文法事項へ応用できる力を付ける。英語の成り立ちと英語が訳せない理由を把握することで、それを克服し、勤や、感覚に頼らず論理的に英文を訳せるようになる。また英文解釈にとどまらず、TOEICのPart5に応用できる力を付ける。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。	
	○	○				5文型を使い分けすることができる。	
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナル学習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション、品詞概要、文中での役割			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	2	自己紹介/5文型とは/第二文型 導入			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	3	第三文型・第一文型 導入			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	4	第四文型・第五文型 導入			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	5	第二文型・第三文型 復習			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	6	第一文型・第四文型 復習			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	7	第五文型 復習			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	8	五文型確認テスト			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	9	TOEIC Part3,4,5 演習			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	10	TOEIC Part3,4,5 演習			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	11	TOEIC Part3,4,5 演習			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	12	TOEIC Part3,4,5 演習			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	13	TOEIC Part3,4,5 演習			前回の復習を行って授業に臨むこと		
	14	TOEIC Part3,4,5 演習			前回の復習を行って授業に臨むこと		
15	期末テスト前復習			前回の復習を行って授業に臨むこと			
評価方法	1) 学内でTOEIC (IP) 検定試験を実施。 730点以上を100点、650点以上を95点、600点以上を90点、550点以上を85点、500点以上を80点、455点～495点を75点以下、450点未満を70点以下とする。 2) 定期試験(筆記)を実施する。 3) 小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				20%
	平常点	◎	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	Airline English II A						
科目名(英)	Airline English II A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	Scott Anthony Newby / Kevin Alicea		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	Airline 2						
授業概要	1. Students can raise their English proficiency. 2. Students can gain more confidence in using English. 3. Students can gain workplace related English skills.						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Students can raise their English proficiency.	
	○					Students can gain more confidence in using English.	
	○					Students can gain workplace related English skills.	
テキスト・教材 参考図書	none						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Get to know your teacher			none		
	2	7.1 Travel Partners			Preview lesson materials and review previous lesson		
	3	7.2 The Longest Bus Ride			Preview lesson materials and review previous lesson		
	4	7.3 Can you tell me the way?			Preview lesson materials and review previous lesson		
	5	7.4 Hong Kong (needs TV/DVD)			Preview lesson materials and review previous lesson		
	6	7.5 Lookback / Teacher's lesson			Preview lesson materials and review previous lesson		
	7	8.1 Having a good time			Preview lesson materials and review previous lesson		
	8	8.2 What a difference			Preview lesson materials and review previous lesson		
	9	8.3 What do you recommend?			Preview lesson materials and review previous lesson		
	10	8.4 Changing Trends (needs TV/DVD)			Preview lesson materials and review previous lesson		
	11	8.5 Lookback / Teacher's lesson			Preview lesson materials and review previous lesson		
	12	9.1 City Bikes			Preview lesson materials and review previous lesson		
	13	9.2 Free Ride			Preview lesson materials and review previous lesson		
	14	Speaking Test Practice			Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)		
15	Speaking Test			Preview lesson materials and review previous lesson (0.5h)			
評価方法	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
履修上の注意	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.						

科目名	韓国語ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	盧 愛蓮		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるよう指導する。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				文法や単語の意味を理解し、日常会話レベルの韓国語を習得し、実践することができる。	
	○	○				簡単な日常会話を話せるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶ韓国語						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1年次学習分総復習 その1					
	2	1年次学習分総復習 その2 (前回分 小テスト)					
	3	4課 あります、います ありません、いませんか					
	4	4課 続き 練習問題 ポキャブラリーバンク					
	5	5課 します しますか (4課 小テスト)					
	6	5課 続き 練習問題 ポキャブラリーバンク					
	7	6課 します しますか(別表現) (5課 小テスト)					
	8	6課 続き 練習問題					
	9	7課 する等の動詞、形容詞語尾変化 敬語作りー1					
	10	7課 続き 練習問題 単語徹底 ポキャブラリーバンク					
	11	8課 敬語作りー2 (とても大事、念入りに)					
	12	8課 続き 練習問題 例外変化徹底					
	13	7, 8課まとめ 単語、2通り変化練習 テストー1					
	14	7, 8課 総まとめ テストー2					
15	前期学習分総まとめ 期末テスト対策						
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 実力に抜きん出ている生徒等は授業の他に検定試験に向けての指導をする。過去問題等を解かせたり、先に進めて別テストを行う 3. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 4. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上) D(50点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テストや発表回数	◎	○	○	○		50%
履修上の注意							

科目名	中国語ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	王 波		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	昨年の学びを元に、さらなる日常会話、単語を使い簡単な文法の応用を目指す。						
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○	○			様々な単語を駆使して簡単な日常会話ができ、口頭試験に合格することができる。	
	○	○				日常的によく使われる表現を繰り返し身に付け、自由自在に会話ができる。	
	○	○				仕事の場面で使う表現を少しずつ覚え、正しく使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	中国語はじめての一步						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	昨年学んだ内容の総復習					
	2	常用動詞の復習			単語をしっかり覚えよう(0.5時間)		
	3	形容詞の復習			単語をしっかり覚えよう(0.5時間)		
	4	大き数字とお金			繰り返して練習しよう(0.5時間)		
	5	“量詞”			各量詞と名詞の組み合わせを覚える(0.5時間)		
	6	“想”と“喜欢”			単語を使い文型の理解を深めよう(0.5時間)		
	7	“有”の所有文の復習と存在文			単語を使い文型の理解を深めよう(0.5時間)		
	8	日付けの言い方			繰り返して練習しよう(0.5時間)		
	9	時間の言い方			繰り返して練習しよう(0.5時間)		
	10	主+時+動+名の文型			単語を使い文型の理解を深めよう(0.5時間)		
	11	文型を使い会話練習					
	12	本文の演習			本文を暗記しよう(0.5時間)		
	13	練習問題を解く					
	14	作文:私の一日					
15	口頭試験とテスト範囲復習						
評価方法	(1)口頭試験を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(口頭試験加味)	○	○	○			100%
履修上の注意							

科目名	SPI対策Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口／中山／合力／松藤		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	各企業の採用試験で広く普及しているSPI試験の対策授業。実際の試験を想定し模擬問題に挑戦し、応用力を身に付け確実に問題に解答できる力を養っていく。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				解法を理解し、説明することができる	
		○				制限時間内に解答することができる	
		○				模擬試験問題を7割以上の正答率で解答することができる	
テキスト・教材 参考図書	「1日30分 7日間で完成 2025年度版 7日のできる！SPI必勝トレーニング」(高橋書店)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	■レベルチェックテスト			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	2	実践テスト①			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	3	実践テスト①			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	4	実践テスト②			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	5	実践テスト②			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	6	実践テスト③			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	7	実践テスト③			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	8	実践テスト④			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	9	実践テスト④			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	10	実践テスト⑤			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	11	実践テスト⑤			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	12	実践テスト⑥			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	13	実践テスト⑥			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	14	まとめ			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
15	前期試験範囲の振り返りと試験対策						
評価方法	(1)定期試験 (2)出席状況 以上を、以下の観点・割合かで評価をする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		○		80%
	中間テスト		◎		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子 / 市原 美智子		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 トラベル科 2年						
授業概要	企業の就職試験問題に対応できる実力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般教養力の強化を図る。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字検定2級程度の漢字の読み書きができる	
	○					数学問題の解法を理解し、正確に解答することができる	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる	
	○					歴史に沿って時代の流れを理解し、歴史上の出来事について概要を説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目概要・シラバス説明・第1回:漢字、数学			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	2	第1回:社会、英語、数学、時事用語			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	3	第2回:漢字、数学、社会、国語			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	4	第2回:英語 第3回:国語、社会、漢字			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	5	第3回:数学、社会、英語			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	6	第4回:漢字、数学、国語、社会、芸術			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	7	第4回:英語 ●第1回～4回確認テスト			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	8	第5回:漢字、数学、社会、英語			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	9	第6回:漢字、社会、英語			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	10	第7回:漢字、国語、社会、数学、英語			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	11	第8回:国語、社会、英語、数学			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	12	第9回:漢字、英語、数学、社会			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	13	第10回:漢字、数学、社会			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	14	第10回:数学、社会、英語 ●第5回～10回確認テスト			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
15	まとめ:前期授業内容の確認と試験対策			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)			
評価方法	(1)定期試験 (2)確認テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎			○		80%
	確認テスト(2回)	◎			○		10%
	出席状況				◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養ⅡA					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	宮崎 みゆき	
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	国際線グランドスタッフとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科 2年					
授業概要	①教養を深めるための経験を通し、社会人として必要とされるマナーや知識を身に付ける。 ②メンター制度を通して、後輩指導において大切なポイントを学び、実践する。 ③行事の企画・運営を行い、仕事に対する基本姿勢を習得する。					
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○		○		後輩指導におけるポイントを理解し、実践することができる。
				○		行事の企画・運営における自身の役割を認識し、チームのために行動することができる。
				○		社会人としてふさわしいマナーについて理解し、実践することができる。
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	2年次のスケジュール確認、目標設定			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	2	班運営について、リーダー・サブリーダー選出			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	3	班での目標設定、クラス運営での役割確認			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	4	1・2年生交流会①(学科合同イベント)企画・準備			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	5	1・2年生交流会①(学科合同イベント)企画・準備			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	6	1・2年生交流会①(学科合同イベント)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	7	メンター制度について、後輩指導におけるポイント確認			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	8	メンター・メンティーの顔合わせ、今後の取り組みについて確認			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	9	後輩指導①(就職準備、学校生活のアドバイス)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	10	後輩指導②(履歴書添削時の注意確認)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	11	観光列車、観光都市の役割について(行事の予習)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	12	ゆふいんの森号乗車体験①			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	13	ゆふいんの森号乗車体験②			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	14	後輩指導③(空港インターンシップにおける注意点)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	15	内定先企業との今後のやり取り、早期入社時の注意点について			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	16	接客マナースキルコンテスト運営計画、役割分担、作業確認①			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	17	接客マナースキルコンテスト運営計画、役割分担、作業確認②			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	18	接客マナースキルコンテスト運営計画、役割分担、作業確認③			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	19	接客マナースキルコンテスト運営計画、役割分担、作業確認④			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	20	後輩指導の振り返り			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	21	クラスレクリエーション企画・準備			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
	22	クラスレクリエーション			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。	
23	前期のまとめ			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備を行うこと(0.5時間)。		

評価方法	(1)数回、レポートやPPT作成等の課題を実施する。 (2)学科内行事の企画・運営を数回取り組む。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物				◎		50%
	行事企画・運営				◎		50%
履修上の注意							

科目名	GCB II						
科目名(英)	Global Citizen Basic II						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験	国際線グランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	GCB Iでの考えを踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学び、実践出来るようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		自らの考えを積極的に発表することができる	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシックII志の教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンと“志”			振り返りレポートの作成(1時間)		
	2	自分を取り巻く環境を知る ～世界の中の日本・日本の中の私～			振り返りレポートの作成(1時間)		
	3	自己を知る			振り返りレポートの作成(1時間)		
	4	伝える力を学ぶI～プレゼンテーション～			振り返りレポートの作成(1時間)		
	5	伝える力を学ぶII～グループコミュニケーション～			振り返りレポートの作成(1時間)		
	6	先人の志に学ぶ～プロフェッショナルとは～			振り返りレポートの作成(1時間)		
	7	成功者の考え方に学ぶ～まとめにむけて～			振り返りレポートの作成(1時間)		
	8	自らの志を言語化する(知行合一の考え方に基づく)			振り返りレポートの作成(1時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。						